

シベリア 収容所

『凍りの掌 -シベリア抑留記- 新装版』
おざわゆき / 講談社 / 2015年
ISBN 978-4-06-377303-3 / コミック



終戦後、当時のロシアに捕虜とされた日本人は、シベリアに労働力として送られました。作者の父親の体験を元に描かれた本作では、極寒の地での過酷な日々をリアルに感じられます。2012年度文化庁メディア芸術祭新人賞作品。

『収容所から来た遺書』
辺見じゅん / 文春文庫 / 1992年
ISBN 978-4-16-734203-6 / 文庫



終わりの見えない過酷な収容生活の中、帰国への希望を持ち続け、周囲に生きる希望を与えた山本幡男。ともに過ごした仲間たちが記憶として持ち帰った6通の遺書が、遺族へ届けられるまでを描いたノンフィクションです。

戦争の本、もっと ブックガイド

『明日の平和をさがす本 300』
宇野和美ほか編著 / 岩崎書店 / 2016年
ISBN 978-4-26-580228-9 ブックガイド



過去から現在まで、世界各地の戦争や紛争、平和がテーマの作品を、絵本、物語、ノンフィクション、マンガなど多様なジャンルから300冊をセレクト。10代の今、考えるきっかけになる1冊がきっと見つかります。

戦場のリアル 特攻・南の島

『不死身の特攻兵 軍神はなぜ上官に反抗したか』
鴻上尚史 / 講談社現代新書 / 2017年
ISBN 978-4-06-288451-8 / 新書



いわゆる「神風特攻隊」というものに対するイメージが、がらりと変わる一冊。これまでそのイメージを形作ってきたのは、「命令する側」が作った物語でした。「命令される側」から見た戦場のリアルがここにあります。

『ペリリュー -楽園のゲルニカ-』
武田一義 / 白泉社 / 2020年8月現在、既刊9巻
1巻 ISBN 978-4-59-214187-7 / コミック



ペリリュー島は生存率34/10000の、南太平洋の激戦地。戦後生まれの作者が、三頭身キャラのマンガ家志望の兵士の目を通して、美しい南の島での極限状態の戦場生活を描きます。2017年度日本漫画家協会賞優秀賞。

戦争を知らない世代が描く戦争マンガは、記録等を作者自身の中へ落とし込み、リアルな実感を伴った絵や物語として表現されたものです。このリストでは受賞作など評価の高いものを選びました。

太平洋戦争(ブックガイド・知る/for Teens)
編集・発行/足立区舎人地域学習センター
お問い合わせ/03-3857-0008
編集協力/足立区立舎人図書館
ヤオキン商事株式会社 2020年8月

太平洋戦争

ブックリスト  知る

For Teens

2020年は太平洋戦争終結から75年。節目の年に「記憶を引き継ぐ」10代向けのブックガイドを作りました。過去の記録と現代の物語を読み比べ、戦争をリアルに感じてみませんか？



足立区舎人地域学習センター

ニッポンの戦争

『それでも日本人は「戦争」を選んだ』
加藤陽子 / 新潮文庫 / 2016年
ISBN 978-4-10-120496-3 / 文庫



なぜ、私たちは歴史を学ぶのでしょうか。過去の間違いを繰り返さないため？実は、歴史に学んだからこそ引き起こされた戦争があります。歴史を「誤用」しないために、今読んでおきたい一冊です。第9回小林秀雄賞受賞。

『昭和の戦争 日記で読む戦前日本』
井上寿一 / 講談社現代新書 / 2016年
ISBN 978-4-06-288376-4 / 新書



その日の出来事と感想が書かれた日記は、時代の空気を閉じ込めたタイムカプセル。開戦の熱気、原爆の噂、突然の敗戦…その時、政治家は、作家は、何を書いたのでしょか。昭和の戦争を日記で追った歯ごたえのある本。

学生と戦争

『無言館 戦没画学生「祈りの絵」』
窪島誠一郎 / 講談社 / 1997年
ISBN 978-4-06-266358-8 / 画集



長野県の美術館〈無言館〉には、戦地で命を落とした画学生が、学生時代から旅立つ直前まで描いていた絵が集められています。彼らがどんな想いを抱え戦地へ向かったか、残された作品が静かに語りかけます。続刊(第2集・第3集)あり。

ナゴヤ・トーキョー 空襲

『東京大空襲 昭和20年3月10日の記録』
早乙女勝元 / 岩波新書 / 1980年
ISBN 978-4-00-415021-3 / 新書



約10万人の犠牲者が出た東京大空襲。8人の体験をもとに、昭和20年3月10日の夜、本当にあった悲劇と惨状が書かれています。作家の早乙女勝元氏は<東京大空襲・戦災資料センター>(江東区)の名誉館長です。

『あとかたの街』(全5巻)
おざわゆき / 講談社 / 2015年完結
1巻 ISBN 978-4-06-376999-9 / コミック



妹に優しくできなかつたり、近所の男の子にときめいたり…戦時下の名古屋に暮らす普通の女の子の日常と、迫りくる戦争の影、そして空襲が描かれます。『凍りの掌』と共に第44回日本漫画家協会賞を受賞した、力のある作品です。

『cocoon』
今日マチ子 / 秋田書店 / 2010年
ISBN 978-4-253-10490-6 / コミック



戦後世代の作者が沖縄戦のひめゆり学徒隊から着想を得て、「もし、自分がそこにいたら」と想像してつくった物語。戦場の少女たちの過酷な生と死が、柔らかく繊細なタッチで描かれています。作者は2014年に手塚治虫文化賞新生賞。

ヒロシマ・ナガサキ 原爆

『この世界の片隅に』(上・中・下)
こうの史代 / 双葉社 / 2009年完結
上巻 ISBN 978-4-575-94146-3 / コミック



広島から呉に嫁いだ女性の視点から戦時下の暮らしを描き、2016年のアニメ映画は大ヒットを記録。戦後世代の作者は広島で生まれ育ち、原爆や戦争と向き合っただけで作品化してきました。2009年度文化庁メディア芸術祭優秀賞。

『トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録』
ジョー・オダネル/写真 / 小学館 / 1995年
ISBN 978-4-09-563013-7 / 写真集



23歳の海兵隊員が、任務とは別に自分のカメラで記録した終戦直後の日本の写真集です。「敵」であったアメリカ兵が見た、たった1発の爆弾で瓦礫になった街やそこに生きる人々の表情を、あなたも見ることができます。

『広島第二県女二年西組 原爆で死んだ級友たち』
関千枝子 / ちくま文庫 / 1988年
ISBN 978-4-480-02241-7 / 文庫



1945年8月6日、広島に原爆が落とされた瞬間、その場にいた39人のクラスメイト達に何が起こったのか。体調不良で欠席したために生き残った作者が、遺族へのインタビューを繰り返し、丹念に事実へと迫ります。